

入学の辞

柔らかな風にそれぞれの夢をのせ、私たち新入生は京都芸術大学に入学いたしました。様々な場所から集まった私たちは、これから迎える日々で、年齢や国籍、学科にとらわれることなく人との輪を広げていきたいと思えます。そして、この恵まれた環境の中で、大学生活が実りあるものとなるよう、努力します。伝統ある京都芸術大学に入学する事へ誇りを持ち、本学の学生の一員として恥じらいのないよう、過ごします。

幼い頃、人と対話することが苦手だった私にとって、自身の気持ちを伝える事はとても悩ましい事でした。どうしても家族や仲の良い友達以外と話をする時は緊張をしまい、言葉が詰まり、あの時こう言えば良かった、と緊張が解け、落ち着いた頃に、そうよく後悔していました。

そんな中、小学生の時、新聞作りや作文といった、文章を書いて伝えるということに出会い、気持ちを伝える手段として「話す」ということだけではないと改めて気がつくことができました。

直接対話する事に比べ、時間はかかりますが、文字を書いて伝えることが自分にとても合い、またそれを好きになりました。

そして、文字で表現するという脚本家への夢に出会いました。

ただ、今まで夢に対する勉強は何をどうしたら良いのか全く分からず、そのまま月日が経ちました。

ですので、人より知識や能力に関しては劣っているかもしれません。

ですが、話すことが苦手だからこそ、相手の気持ちや心情を汲み取るよう心がけてきました。

努力する事、物事に一生懸命取り組む事、諦めない事、聞きなれた言葉ではあるけれど、私はそれらを今までの人生の中でたくさん果してきました。

これからの4年間、文芸表現学科で文章を書き、伝えるという事を基礎から学び、それを脚本という道へと最大に発揮し、結果を残していきたいと思えます。

加えて、本学の学名でもある「芸術」とは何かということを常に問い続け、卒業時には自分が思う芸術を持つことを目標とします。

新入生を代表致しまして、以上、入学の辞とさせていただきます。